

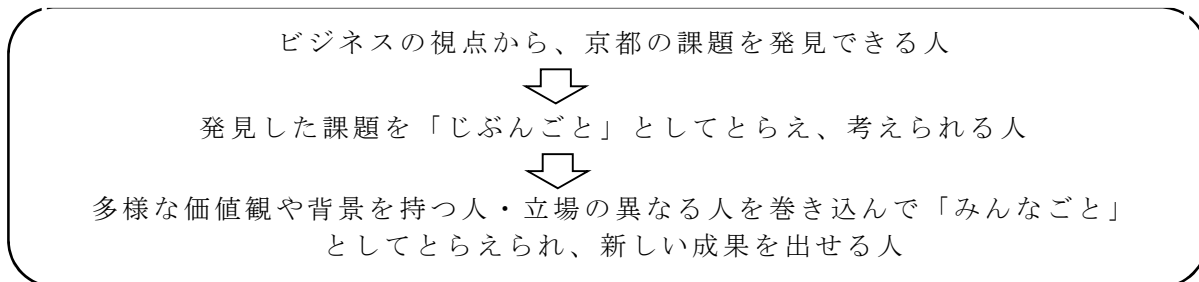
<発表テーマ> 京都すばる高校「みんなごと化プロジェクト」の軌跡

<学校名・発表者名> 京都府立京都すばる高等学校 起業創造科3年 後藤 結衣  
企画科3年 桑原 貴太

## 1. 事業の概要

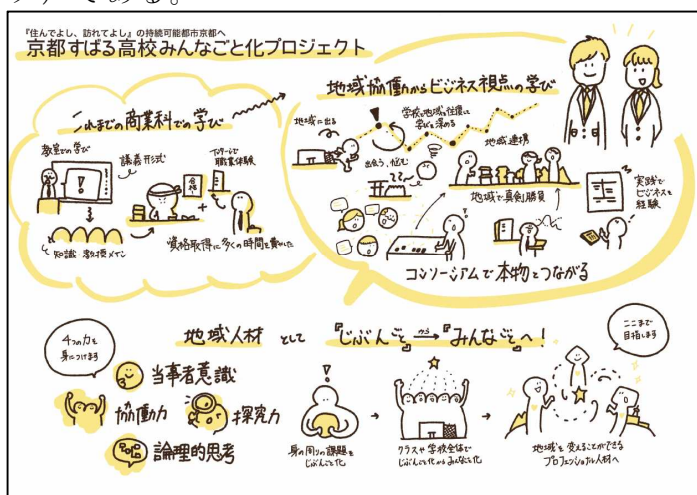
### (1) 研究開発名

『住んでよし、訪れてよし』の持続可能都市京都を支える人材育成に関する研究  
～京都すばる高校：みんなごと化プロジェクト～



### (2) 研究目的

この事業は、高等学校等と市町村，高等教育機関，産業界等と協働してコンソーシアムを構築し，高等学校等における地域課題の解決等を通じた探究的な学びを実現することにより地域人材を育成することを目的としている。本校が目指す地域協働イメージ図（グラフィックレコーディング）である。



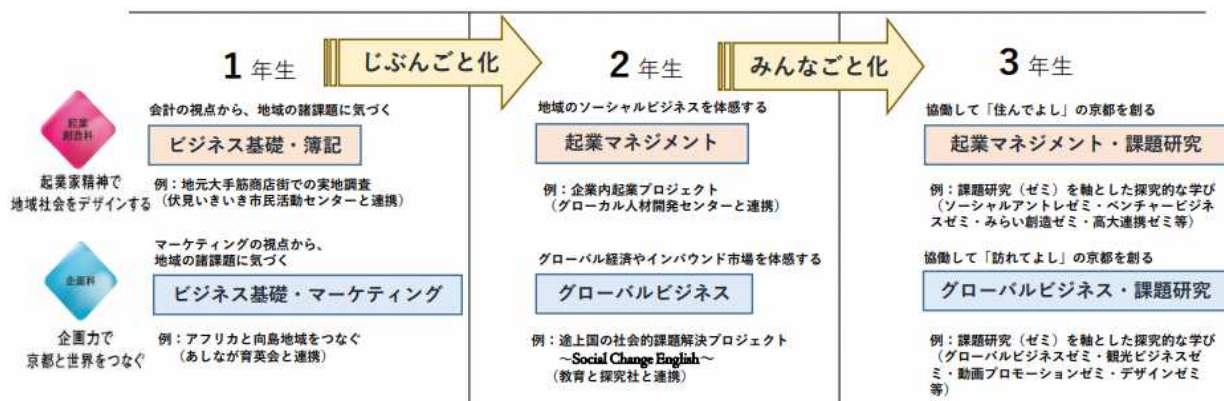
研究は，専門高校の特性を活かし，実践を伴った探究的な学びを実現することにより，地域人材に必要な資質・能力（当事者意識，探究力，論理的思考力，協働力）を育成することを目的として行う。

- ① コンソーシアム体制の活用
- ② 地域課題解決型授業の実施
- ③ 地域公共政策士（高校生版）の創設
- ④ 学校ボランティアクラブの設置

## 2. 具体的・特徴的な実践内容

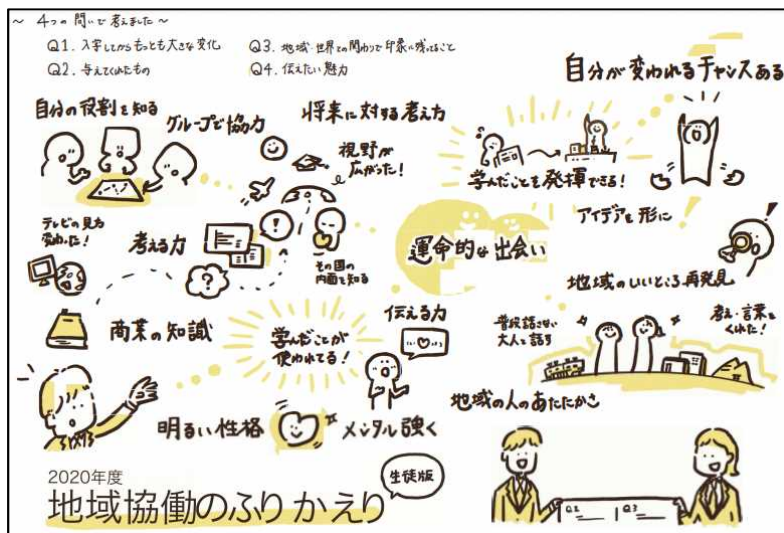
### (1) 3年間の学習の流れ

1年次の「じぶんごと化」を発展させ2・3年次では学校設定科目及び課題研究を活用し「みんなごと化プロジェクト」を実施している。1年次の一人ひとりの小さなじぶんごとは，集まることで大きな「みんなごと」となり，社会を変える力となる。この「みんなごと化プロジェクト」により，常に当事者意識を持ち「住んでよし，訪れてよし」の実現に向けて主体的に行動できる人材を育成するための授業を行っている。



(2) 地域協働の学びによる生徒の気づき

地域協働の学びを経験した生徒の振り返りのイメージ図である。（令和2年度実施）  
 地域社会と関わる授業の中で、学びと社会のつながりや自分自身の変化に気づき始めている生徒の声が読み取れる。



3. 成果と改善の方向性

下記は起業創造科・企画科現3年生を対象に、令和2年度3月に実施したアンケート結果である。（次回は令和3年度1月にアンケート実施予定）

地域への関心度	自分が住んでいる地域について興味、関心がわいた	85.6%
授業への積極性	地域とつながる授業に対して積極的に取り組んだ	85.1%
じぶんごと化	地域の諸課題に当事者意識を持った	81.5%
みんなごと化	周囲を巻き込み、チームで協働することが出来た	66.7%

(1) 地域協働の学びによる生徒の変化

1年次より地域とつながる授業の中で地域に実際に出向き、地域課題をリアルに感じとる機会を持つことができた。そのことにより地域の多様な課題を繰り返し議論し、問題意識を共有する中で、地域課題に対して傍観者ではなく、当事者意識を持って考えることができる生徒が育ちつつある。

(2) みんなごと化の達成に向けて

今後、地域課題の解決のために周囲を巻き込みチームで協働することができる「みんなごと化」が2年終了時点で66.7%にとどまっているので、年度末には80%以上の達成に向けて課題研究（ゼミ活動による探究的な学び）の授業を活用して育成していきたい。

# 京都府立京都すばる高校

『住んでよし、訪れてよし』の持続可能都市  
京都を支える人材育成に関する研究  
～みんなごと化プロジェクト～



# 第3 1回全国産業教育フェア（埼玉大会）

発表タイトル

京都すばる高校

「みんなごと化プロジェクト」の軌跡

発表者

起業創造科	3年	後藤	結衣
企画科	3年	桑原	貫太

# 京都府立京都すばる高等学校



# 起業創造科

## 起業家精神で地域社会をデザインする



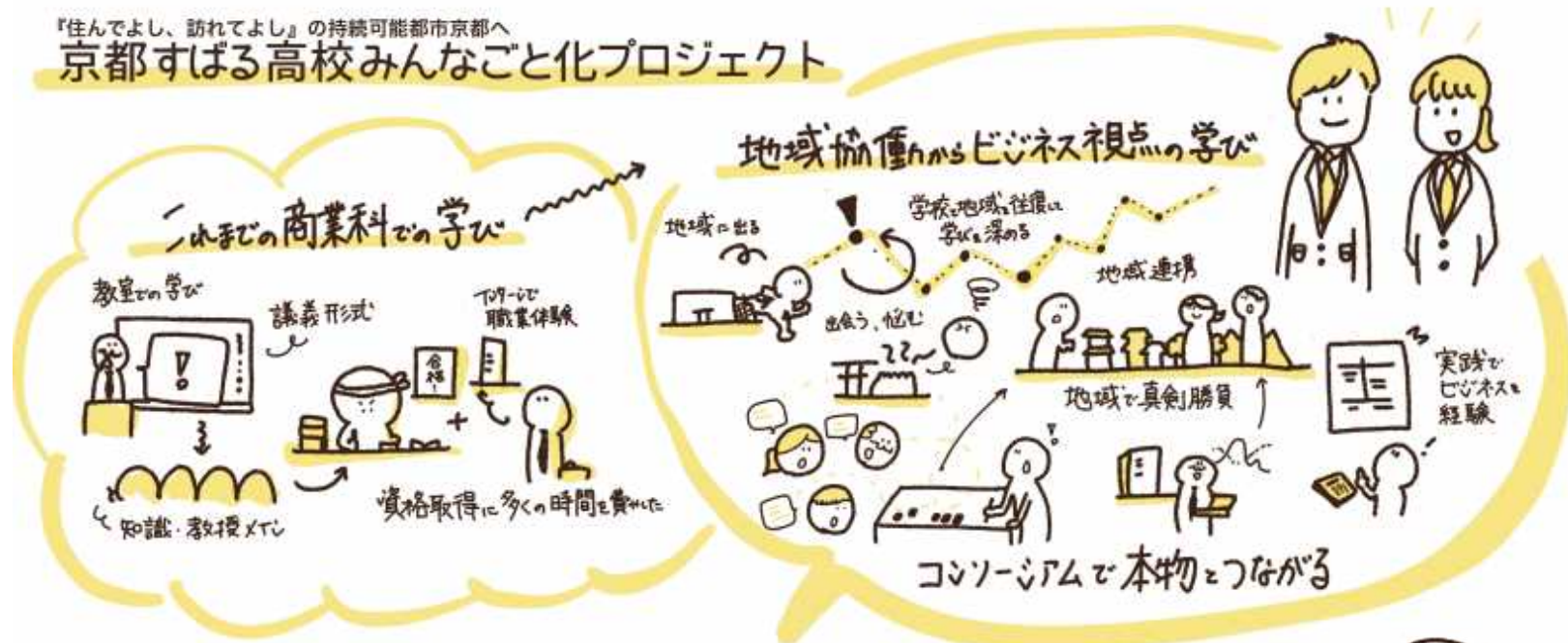
# 企画科

## 企画力で京都と世界をつなぐ



# 京都すばる高校が目指す地域協働のカタチ

『住んでよし、訪れてよし』の持続可能都市京都へ  
 京都すばる高校みんなごと化プロジェクト

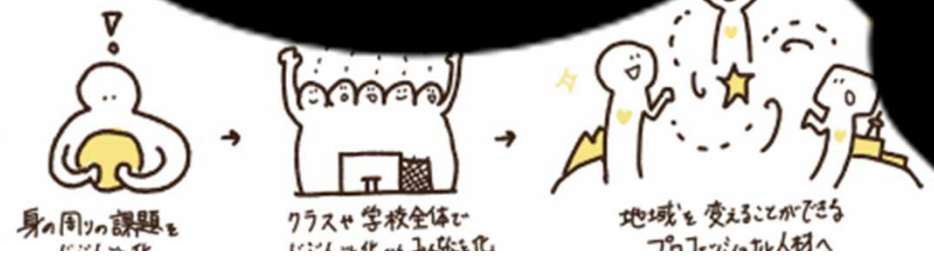




# 京都すばる高校が目指す地域協働のカタチ

『住んでよし、訪れてよし』の持続可能都市京都へ  
 京都すばる高校みんなこ

プロジェクト



# 京都すばる高校が目指す地域協働のカタチ

ヒプロプロジェクト

## 地域協働からビジネス視点の学び



時間を費やした

コンソーシアムで本物とつながる



# 京都すばる高校が目指す地域協働のカタチ

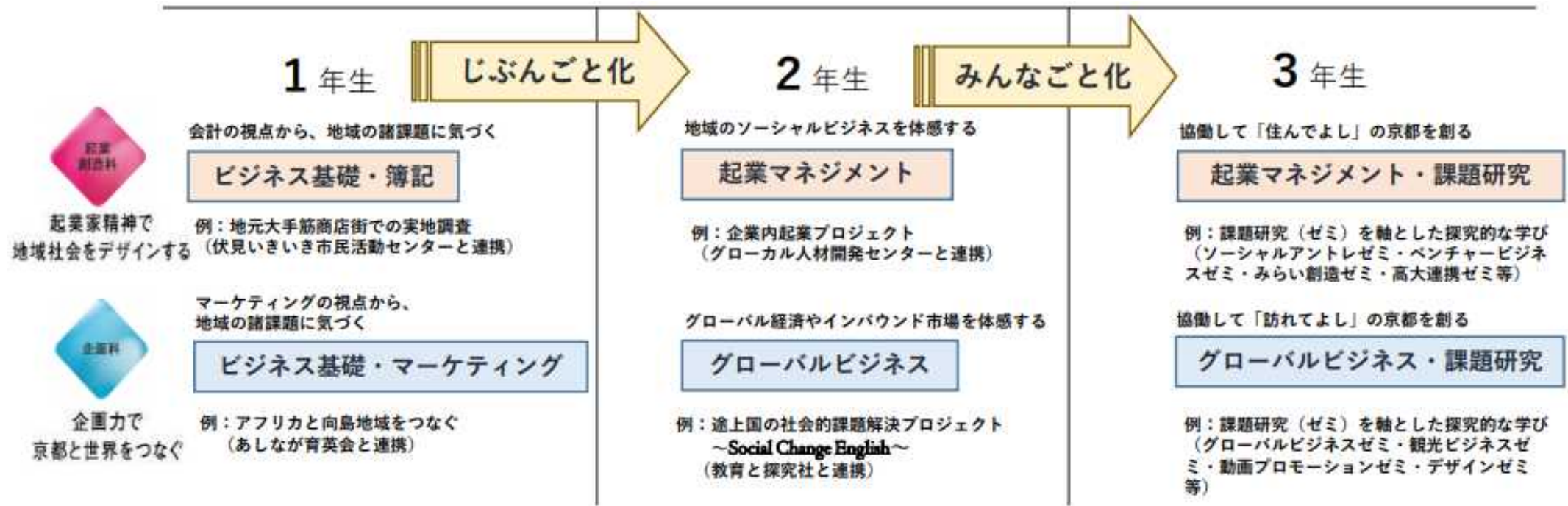
地域に出る

出会う  
悩む

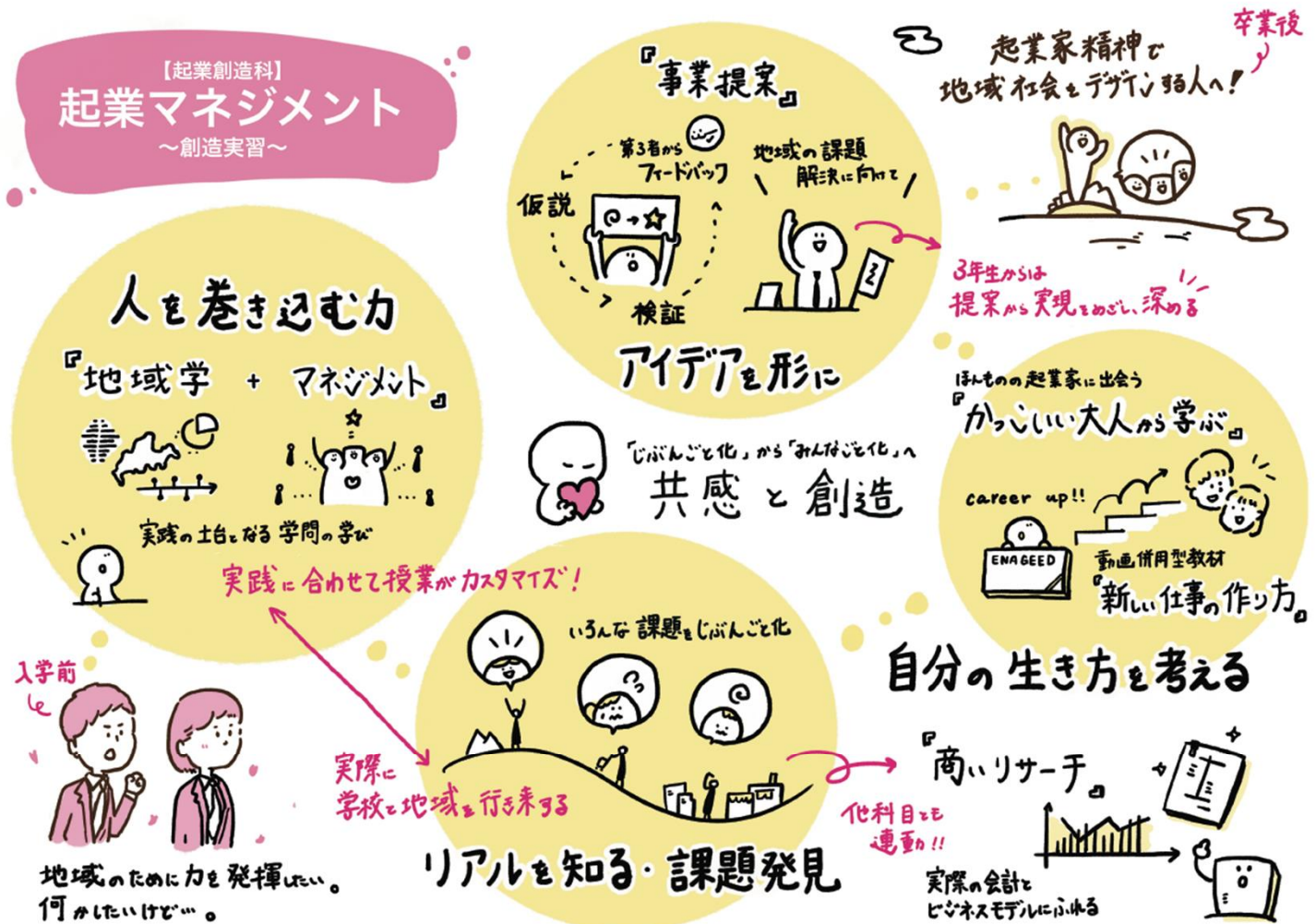
学校と地域を往復して  
学びを深める

# 地域で真剣勝負

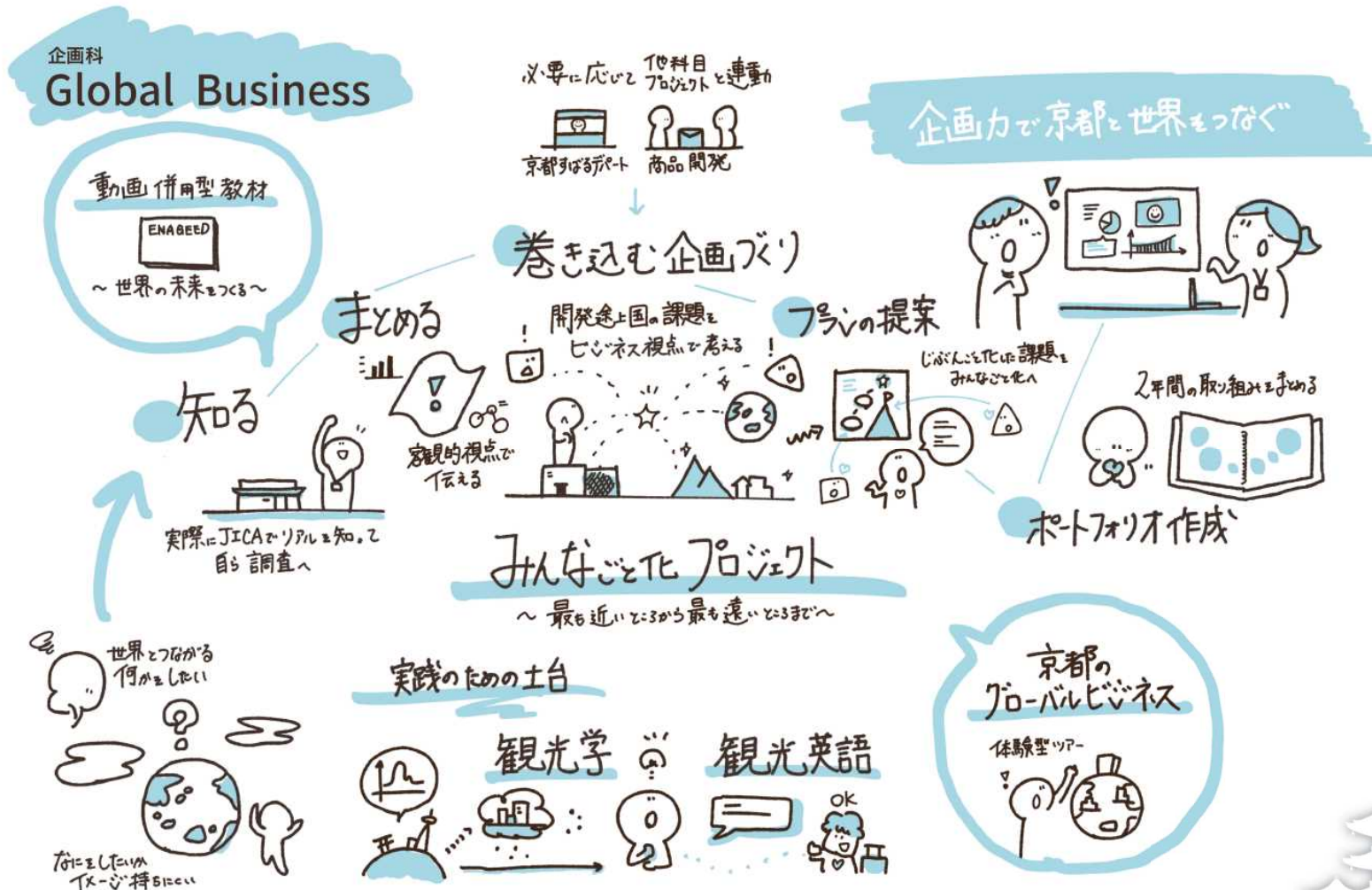
# 地域協働真剣勝負～3年間の流れ～



# 地域協働真剣勝負～起業マネジメント～



# 地域協働真剣勝負～グローバルビジネス～



# 地域協働真剣勝負～課題研究（ゼミ形式）～

## 起業創造科9ゼミ

- ① ソーシャルアントレゼミ
- ② ローカルキャリアゼミ
- ③ ベンチャービジネスゼミ
- ④ 会計活用ゼミ
- ⑤ 未来創造ゼミ
- ⑥ 小中連携ゼミ
- ⑦ 高大連携ゼミ
- ⑧ イノベーションゼミ
- ⑨ コンテストチャレンジゼミ

## 企画科9ゼミ

- ① グローバルビジネスゼミ
- ② 観光ビジネスゼミ
- ③ 商品開発ゼミ
- ④ スポーツ・健康ビジネスゼミ
- ⑤ 動画プロモーションゼミ
- ⑥ 小中連携ゼミ
- ⑦ 高大連携ゼミ
- ⑧ デザインゼミ
- ⑨ コンテストチャレンジゼミ



# 地域協働真剣勝負～課題研究（ゼミ形式）～

## （１）「課題研究」でめざすもの

「じぶんごと化」と「みんなごと化」

- 自分たちで授業を創る
- 学科全体で探究活動を行う
- 学科の学びと社会（地域・世界）をつなげる

## （２）授業の流れ（ゼミのきまりごと）

毎回「ゼミレポート」の提出





# 地域協働真剣勝負～具体的な取り組み①～

## 伏見大手筋商店街 商いリサーチ（1年次）

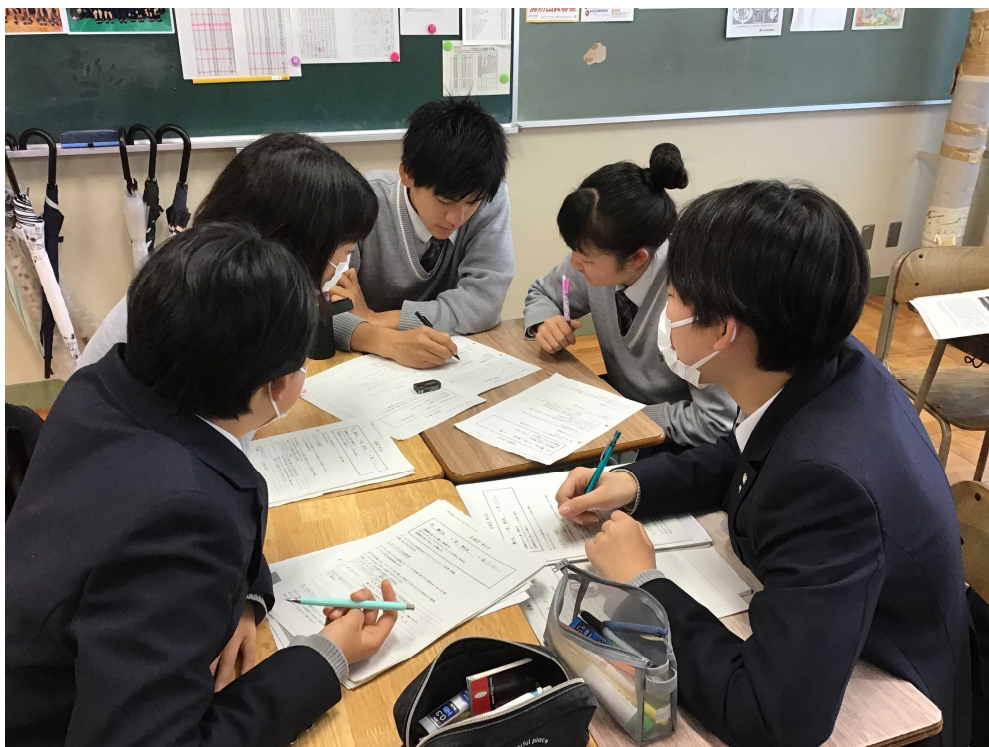


## 京都中小企業 商いリサーチ（2年次）



# 地域協働真剣勝負～具体的な取り組み②～

アフリカと向島をつなぐ  
じぶんごと化プロジェクトⅠ（1年次）



アフリカと向島をつなぐ  
じぶんごと化プロジェクトⅡ（2年次）

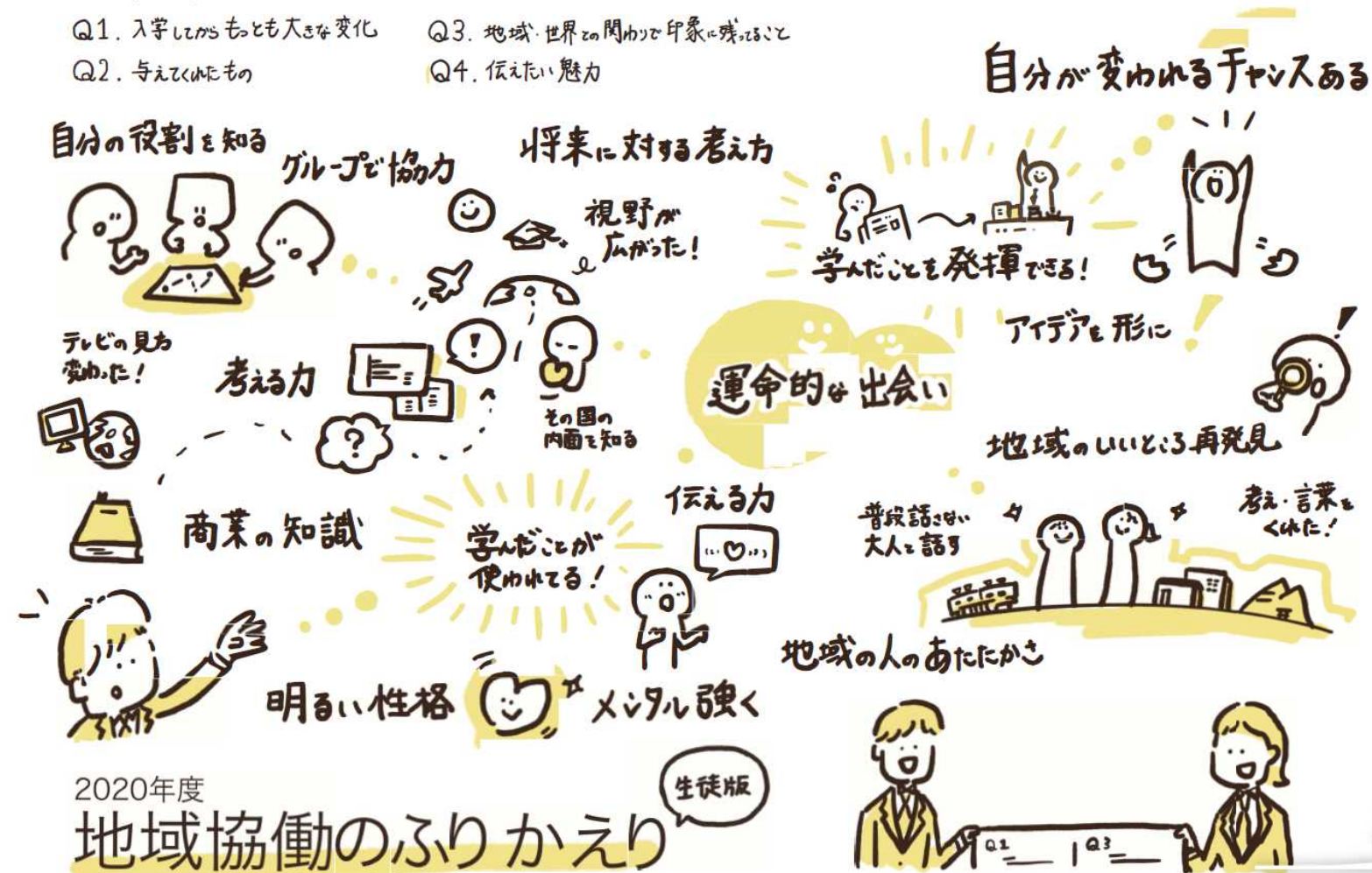




# 地域協働真剣勝負～生徒の気づき～

～ 4つの問いで考えました～

- Q1. 入学してからもっとも大きな変化
- Q2. 与えてくれたもの
- Q3. 地域・世界の間ゆりて印象に残っていること
- Q4. 伝えたい魅力



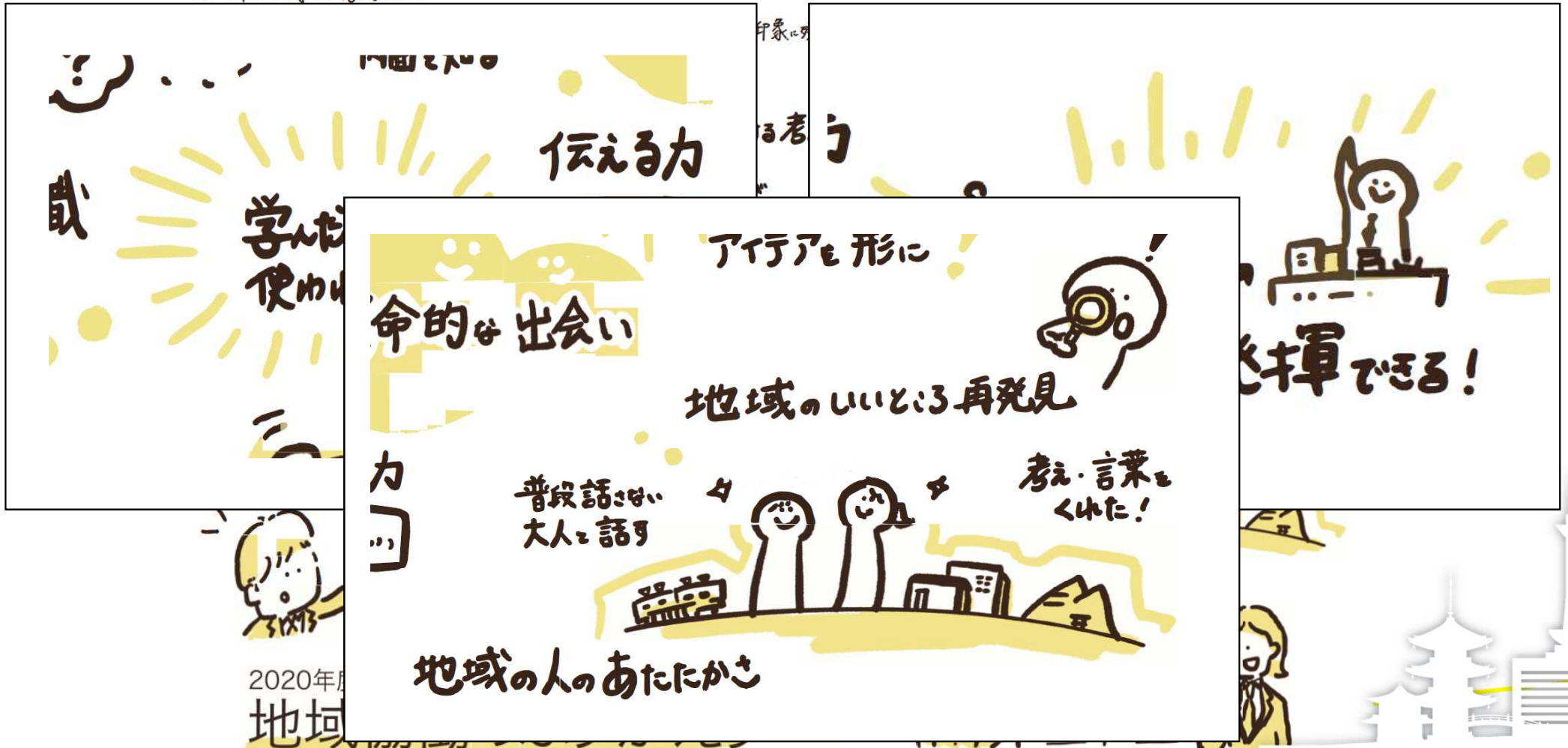
2020年度  
地域協働のふりかえり

生徒版



# 地域協働真剣勝負～生徒の気づき～

～ 4つの問いに答えました～



# 地域協働成果・改善～生徒アンケートより～

地域への関心度	▶ 自分が住んでいる地域について興味・関心がわいた	▶ 85.6%
授業への積極性	▶ 地域とつながる授業に対して積極的に取り組んだ	▶ 85.1%
じぶんごと化	▶ 地域の諸課題に当事者意識を持った	▶ 81.5%
みんなごと化	▶ 周囲を巻きこみ、チームで協働することが出来た	▶ 66.7%

**みんなごと化はまだ66.7%でこれから！ ⇒ 80%以上  
(年度末)**

# 地域協働成果・改善～みんなごと化できる社会～



ご清聴ありがとうございました



京都府立京都すばる高等学校